

事業再評価シート

事業名	道路事業（社会資本整備総合交付金）		
箇所名	一般国道265号（十根川バイパス）	市町村名	椎葉村

(上段()書きは当初計画)

実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 交付金 <input type="checkbox"/> 県単		
事業期間	採択年度	再評価年度	完了予定年度
	H24	R3	(R3) R14
事業進捗	全体事業費 (百万円)	既投資額 (百万円)	進捗率(%)
	(5,200) 7,500	2,360	事業費 用地 (-) (-) 31.4 55
再評価の概要	対象選定理由		事業効果(B/C)
	事業採択後10年経過		(1.5) 1.3
			対応方針原案
			継続

全体計画

一般国道265号は宮崎県小林市を起点とし、宮崎県西米良村、椎葉村、五ヶ瀬町、熊本県山都町、高森町を經由し熊本県阿蘇市に至る総延長約200kmの路線であり、地域の経済・産業を支えるほか、地域間交流や災害時、異常事態発生時の輸送ルートとしても重要な道路である。

当該区間は現道延長約3.2kmの椎葉・五ヶ瀬間における唯一の未改良区間（事業中区間を除く）であり、今回、2つのトンネルによるバイパス整備と現道拡幅を行い、椎葉・五ヶ瀬間の全線改良を図るものである。

『計画概要：延長2.8km 幅員5.5（7.0）m』

事業概要

全体延長 L=2,800m
 道路幅員 W=5.5（7.0）m（2車線）
 道路構造 3種4級
 設計速度 40km/h

事業目的

当路線は、椎葉村と五ヶ瀬町、高千穂町を結ぶ幹線道路であり、代替ルートがないことから地域住民にとって日常生活に必要不可欠な道路となっている。

しかしながら、当区間は幅員が狭く線形不良箇所が連続しているうえ、災害による全面通行止めも多数発生していることから地域間交流の難所となっている。

そのため、隘路区間・線形不良箇所を解消し、力強い「経済」の浮揚や、定住自立を図る「地域」の発展、安全・安心な「暮らし」の確保を支援することを目的に道づくりを行うものである。

事業の進捗状況

○現在の進捗状況

- ・事業進捗率は、令和3年度末で、約31%（事業費ベース）となる見込みである。
- ・用地進捗率は、令和3年度末で、55%（面積ベース）となる見込みである。
- ・現在までに、約925mで供用済み。
- ・現在は、道路改良工事及び測量設計、用地補償等を進めている。

○今後の進捗見込み

- ・現在、道路改良工を推進中であり、令和14年度に全線供用を予定である。

○事業が長期化している理由

- ・用地補償に不測の日数を要したため、事業期間の増加が生じた。
- ・労務単価等の上昇を踏まえた、大型構造物や道路線形等の見直しに伴う検討に不測の時間を要したため、事業期間の増加が生じた。
- ・「河川沿いの工事であるため非出水期施工になること」等により、事業期間の増加が生じた。

社会情勢等の変化

○事業を取り巻く社会情勢等の変化

- ・平成26年4月：消費税が5%から8%に引き上げ
- ・平成30年3月：九州中央自動車道「五ヶ瀬～高千穂」間が新規事業化
- ・令和元年10月：消費税10%に引き上げ
- ・令和3年8月：九州中央自動車道 高千穂日之影道路「日之影深角IC～平底交差点」間が開通

○災等々の発生状況

- ・令和2年9月：椎葉村下福良にて、対岸で土砂災害が発生し、国道265号まで土砂が流出

事業効果の分析

○費用対効果

$$B/C = 1.3$$

○事業を継続することの事業効果分析

- ・線形不良箇所、幅員狭小区間の解消により、安全・安心な交通の確保が図ることが出来るとともに、緊急輸送道路としての機能を向上させることができる。
- ・当該路線近辺に位置する観光地を結ぶ観光周瑜圏域の拡大を図ることができる。
- ・九州中央自動車道の新規事業化及び開通と合わせて、他県とのアクセス性の向上による経済・医療環境の進展が期待される。

コスト縮減

○コスト縮減の取り組み

- ・労務単価等の上昇を踏まえ、大型構造物や道路線形の見直しを行い、コスト縮減を行った。
- ・建設発生土については、極力、公共事業間で再利用することとしており、今後も引き続き、他事業と連携を図りながら、コスト縮減に努めていく。

代替案の可能性

- ・現計画は、椎葉村と五ヶ瀬町を結び、防災面や観光面等にも寄与するルートであり、交通ネットワークを形成する上で最適なルートとなっている。
- ・当該区間は現道延長約3.2kmの椎葉・五ヶ瀬間における唯一の未改良区間であるため、当該工区の完成により、椎葉・五ヶ瀬間の全線の整備が完了する。

以上、2点から代替案の可能性はない。

対応方針

継続

十根川バイパス 位置図



国土整理部

